



高3現代文で、「あらし読み」を行いました！

65・66Rの現代文「未来世代への責任」の時間に、地球温暖化や気候変動についての本を読んで情報を集め、それらをもとに意見文を作成しました。

〈調べるための読書〉なので、最初に「目次」や「序文」、「著者」の情報をもとに内容を推測したり、自分の知りたい情報が載っている部分を選んで読む【あらし読み】という方法で読み進めていきました。

※元愛知教育大学教授の 牧 恵子先生の開発されたメソッドを参考にしています



まず出典を書きます。次はその本を選んだ理由、表紙などから飛び込んできた語句、その本のテーマや著者について知っていることなどを書いていきます。

そして、その本に書かれていそうなことを推測したら、ペアになって伝え合いました。

インプットとアウトプットを繰り返し行いながら読み進めていきました。

そして、序章を読んで要約した後、いよいよ目次を開いて自分が読みたい章を1つ選び、マッピングしながら読み進めていきました。



読み始める前に、序章や目次、著者の情報に目を通すことで、

「この本には、こんなことが書かれているんじゃないかな？」と推測してみる。

それから読むことで、ずっと理解しやすくなるのだそうです。

また、読んだ内容を伝えるというアウトプットを行うことで、さらに思考が深まります。

「1冊の本を最後まで読み続ける」のはハードルが高いものですが、

今回は、対話を取り入れながら少しずつ読み進めていく活動だったので、

集中して取り組むことができました！

この後、
①教科書の内容
②本を読んでわかったこと を
もとに意見文を作成しました！

HP「あらし読み」—〈探究〉の入口となる新・読書術 —
<https://www.aramashi.online/>